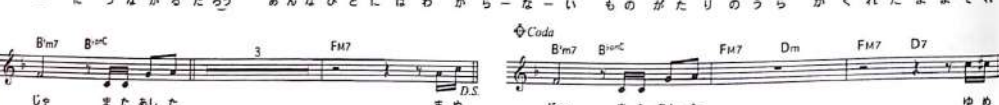
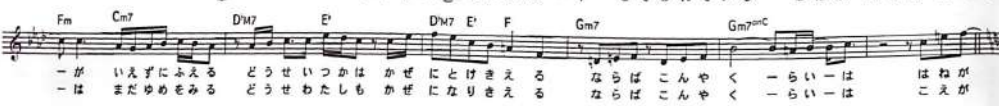


ゆめうつつ

米津玄師

米津玄師 作詞・作曲

リズム4 ♩=82



夢の続きを いつまでも探してた
あまねく町の側で 揺蕩う路地裏
広告を捲いて 飛び立つ紙飛行機
何処まで飛んで行くんだろう
虚しさばかり 見つめ続けるのは
誰かの痛みに気づかかった ひたすら
何かを得れば何かが 目の前を過ぎ過ぎる
さよならまた会えるかな
背中合わせの旅は まだ続いてく
誰も知り得ない傷が 癒えずに増える
どうせいつかは 風に溶け消える
ならば今夜くらいは
羽が生えるような身軽さが
君に宿り続けますように

むくれ顔の蛇も気づきたくない
日々の隙間でおやすみ
君が安らかな夢の中
眠り続けられますように
あんな姿じゃられない
子供みたいなまま遊び疲れてそれじゃ また明日

間抜けな惑星に 住み着いた羊の群れ
風と花と鳥に開かれた 温酒な宇宙船
何かを探し何かを 見捨てたアドバルーン
わたしは何処にいるんだろう
眩い光に絶えず 誘われている
零れ落ちた羊は まだ夢をみる
どうせわたしも 風になり消える

ならば今夜くらいは
声が出せるような喜びが
君に宿り続けますように
革命家の野次も届きはしない
夜の淵で踊りましょ
君が望むならその歌は
誰かの夢に繋がるだろう
あんな人には解らない
物語の裏 隠れたままそれじゃ また明日

ゆめうつつで生きていく 一つずつ愛し合う
躊躇わず渡っていく 君の元へ
やるせなくて嫌になる 面影は遠くなる
疲れたら言ってよ 話をしよう